

事例

① 子どもをみんなでももろう 今宮地域安全パトロール隊

大阪自彊館（大阪府）

〒557-0014 大阪府大阪市西成区天下茶屋1丁目3番17号

TEL 06-6659-8000

活動の概要

当法人が所在する小学校区児童の安全確保のため、定時に校区内を自転車で巡回パトロールをしている。また、学校の校門前の立番もしている。

救護施設 白雲寮・甲子寮、身体障害者療護施設及び事務部門の職員約170名が交替で参加している。

月～金曜日、下校時の15:00～17:00に1組2名で30分毎×4組で実施。

法人の概要

当法人は、明治45年6月釜ヶ崎地区（現「あいりん」）改善を目的とし、無宿者収容更生施設として発足、その後時代のニーズに応じて、授産、簡易食堂、物品販売所（大阪市公設市場の前身）、公益質屋、保育所、生活相談所、診療所等の先駆的な事業を行ってきた。現在は、救護施設7、身体障害者療護施設2、特別養護老人ホーム1、他を運営している。

■ 経営施設数…10

■ 法人全体の年間事業収入…5,352,250千円

①の実施施設の概要

■ 施設名…甲子寮、白雲寮、今宮寮

■ 施設種別…救護施設（甲子寮、白雲寮）
身体障害者療護施設（今宮寮）

■施設の運営方針

「自彊不息（じきょうやまず）」を利用者に対する不変の方針とし、「他律から自律、依存から自立」を基本に、「ここに響くサービス」の提供に努める。

①の活動の内容

■ 活動対象者…小学校児童

■ 活動の頻度…月21回 1回あたり2時間

■ 活動開始年…2006年

■活動開始の背景（取り組みの経緯）

元々、地区社協とPTAで取り組む予定であったが地区社協及び学校長からの協力依頼があり、当法人で取り組むこととなった。

※ H18. 4月～8月実績

実施回数 98回 参加延人数 674名

■人材・賃金面等での工夫、苦慮

特定の部署、職員に片寄らないようスケジュール表を作成し、変更がある場合にはその部署が責任を持って調整するようにした。

■利用者の声、地域の反応

本格的に活動を始めてまだ5か月程度であるが、地域代表（主に保護者）から登下校時の不安感が軽減されたとの声が聞かれる。

特に学校からは活動の継続を強く望まれている。

①の活動の成果、地域の影響、今後の課題

活動が定着することにより、当法人が地元住民にとってより近い存在になってきた。

また、職員にとっても地域の様々な社会資源を知ることができるようになった。

現在は職員のみでの活動であるが、今後地域在住OBの地域交流、自立支援の機会としても生かせるようにしたい。

事例 ②地域相談室

大阪自彊館（大阪府）

〒557-0014 大阪府大阪市西成区天下茶屋1丁目3番17号

TEL 06-6659-8181

活動の概要

「地域相談室」

- (1) 社会的援護を必要とする独居老人への生活援助、介護保険非該当、認定前の独居老人に対するサービス内容、買物、掃除等の家事援助、公的機関、医療機関、金融機関等への連絡や付き添い、安否確認や話し相手、介護保険利用の相談や、介護事業者への橋渡し等
- (2) 相談機関として、あそこへ行けば話（相談）が出来るをモットーによろず相談所を目指しています。

②の実施施設の概要

■施設名…白雲寮

■施設種別…救護施設（定員240名）

■施設の運営方針

障害の種類を問わず、幅広い対象者を受け入れ、個別支援計画に則り自立支援を推し進め、利用者の豊かな生活の実現を目指す。また利用者が地域での自立した生活に移行できるよう、計画的なサービスを進める。

②の活動の内容

■活動対象者…地域の独居老人

■活動の頻度…ほぼ毎日1回

1回あたり30分～2時間

■活動開始年…2006年

■活動開始の背景（取り組みの経緯）

施設周辺地域には、高齢単身世帯の方が多く居住されている。また近年は施設を退所した後、施設近辺に住む人も多くなってきている。この方々が日常生活を送るうえで、困った事、知りたい事、手伝って欲しい事等のニーズに地域の一員として一つでも貢献していこうとの方針から取り組みを始めた。

■事業実施上の課題

開設間もないこともあり、地域への浸透性を増すことが現時点で苦慮しているところである。

■利用者の声、地域の反応

誰からも援助を受けられない一人住まいの高齢者からは、費用もかからず助かると喜ばれていますが、その一方で、無料だから頼みづらいといった声もある。

主な経費や財源の内訳（年間当たり）

主な経費	概算額
事務費	113千円
合計	113千円

主な財源	概算額
・施設負担額	113千円
合計	113千円

②の活動の成果、地域の影響、今後の課題

地域相談室開設から日も浅いため、地域への知名度が低く、相談・依頼件数自体が少ない。よろず相談所として地道な実践活動を積み重ねていくことで、地域からの信頼を得、口コミで知名度が高められるよう努力していく。